

平成26年度(第58期)決算説明資料

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)



平成27年6月22日

<目次>

1. 決算の概況

(1) 損益計算書、貸借対照表の概略	2
(2) 事業の取り組み内容について	3
(3) 売上高および営業利益の推移	4
(4) 品目別売上高の推移	5
(5) 収益関連指標	6
(6) 総資産・純資産	7
(7) 配当政策	8
(8) 利益配分の方針	8

2. 今後の取り組みについて

(1) 経営環境	9
(2) 諸施策	10
(3) 業績の見通し	11

1. 決算の概況

(1) 損益計算書、貸借対照表の概略

(単位:百万円)

	連 結			個 別		
	H26/3期	H27/3期	前期比(%)	H26/3期	H27/3期	前期比(%)
売 上 高	12,277	13,443	109.5	10,608	11,164	105.2
営 業 利 益	100	467	463.2	10	77	728.9
経 常 利 益	177	544	307.3	124	184	147.7
当 期 純 利 益	102	411	401.6	103	193	188.1

(単位:百万円)

	連 結			個 別		
	H26/3期	H27/3期	増減	H26/3期	H27/3期	増減
資 産	11,828	12,986	+1,158	10,672	11,378	+706
負 債	5,715	6,431	+716	4,991	5,625	+634
純 資 産	6,113	6,555	+442	5,680	5,753	+73
総 資 産	11,828	12,986	+1,158	10,672	11,378	+706

2

(2) 事業の取り組み内容について

・ 営業

- ・ 当社の強みでもある高効率モータや低消費電力ポンプの販売促進を行う。
- ・ マイクロバブル発生装置などのユニット製品の拡販を行う。

・ 製造、購買

- ・ 新生産管理システムの構築により、生産効率を高めていく。
- ・ 鉄鋼材や非鉄金属、原油価格が大きく変動する中で、グローバルな部材の調達や国内外の生産拠点の最適化を行い、トータルコストの削減を図る。

・ 研究開発

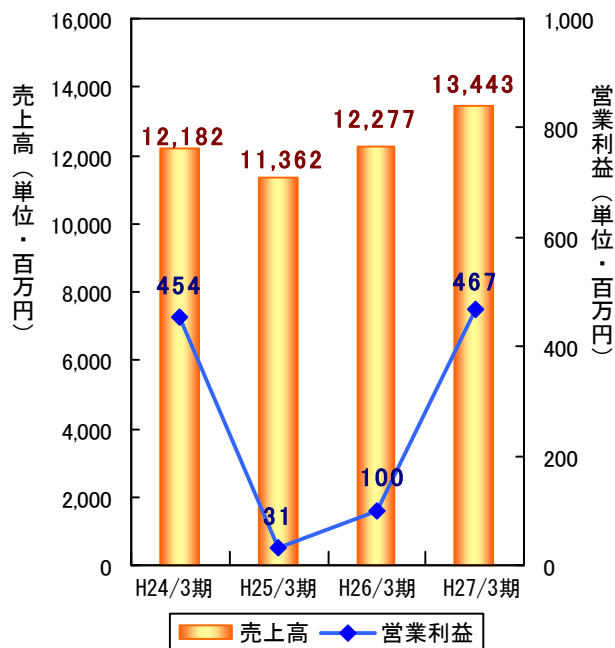
- ・ 環境にやさしい省エネ、低騒音の製品を開発
(IE3(プレミアム効率)対応の高効率モータ 他)
- ・ 新規用途に対応した製品開発(建設機械、医療器具 他)

3

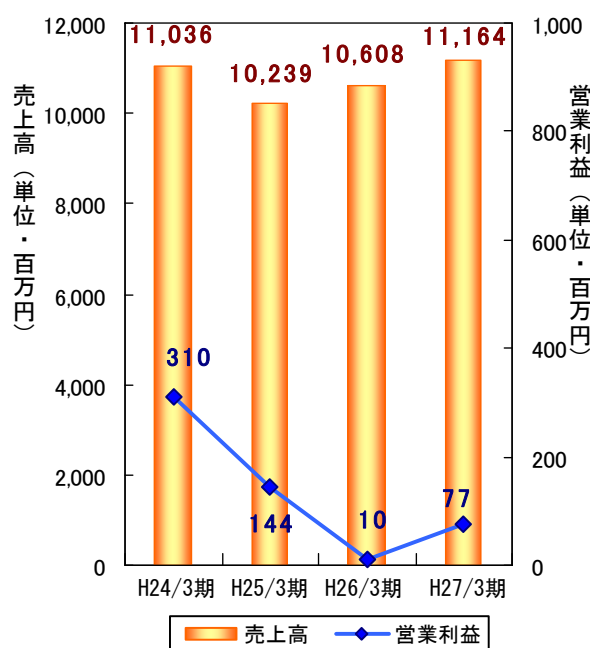
(3) 売上高および営業利益の推移

- ・売上高において、一般消費者向けの製品は消費税の増税に伴い低調であったが、企業業績の向上により設備投資が回復し、工作機械や半導体製造設備の製品需要が増加となる。
- ・営業利益においては、売上高の増加要因に加え、為替の影響による原材料の高騰を、販売価格に転嫁することができ増加となる。なお、個別においては、新製品であるIE3規格対応モータの設備投資により費用が増加し、わずかな増加となっている。

【連結】



【個別】

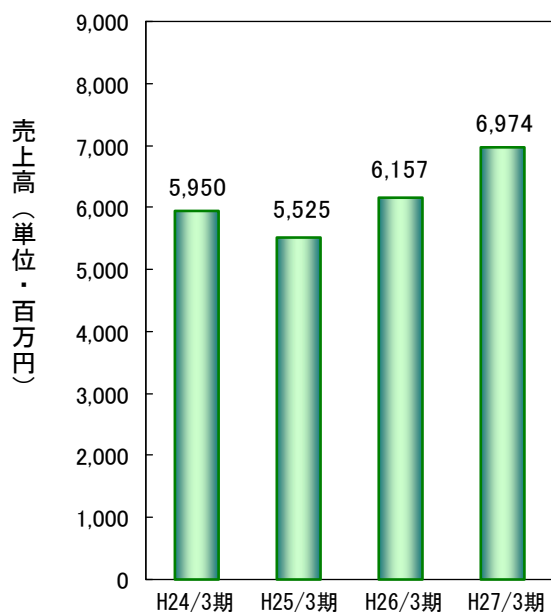


4

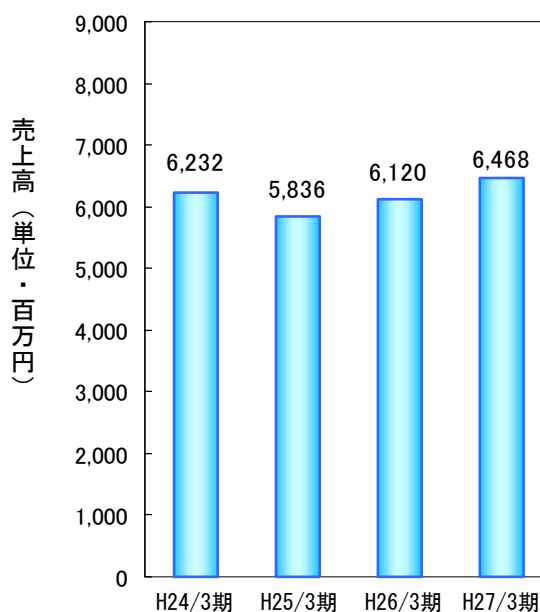
(4) 品目別売上高の推移(連結)

- ・モータでは、空調用のDCモータやポンプ用モータ・工作機械用モータの受注が増加となる。
- ・ポンプでは、給水用ポンプの受注は低調であったが、半導体製造装置用ポンプなどの受注が増加する。

【モータ】



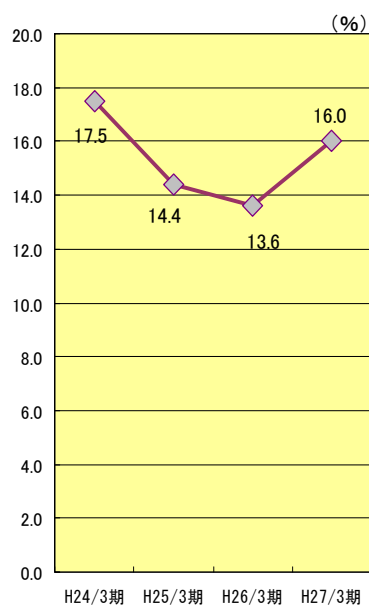
【ポンプ】



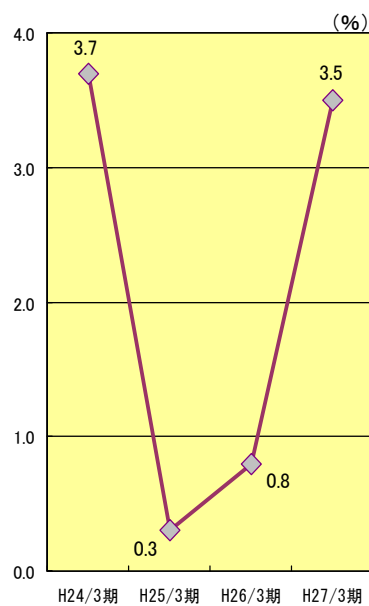
5

(5) 収益関連指標(連結)

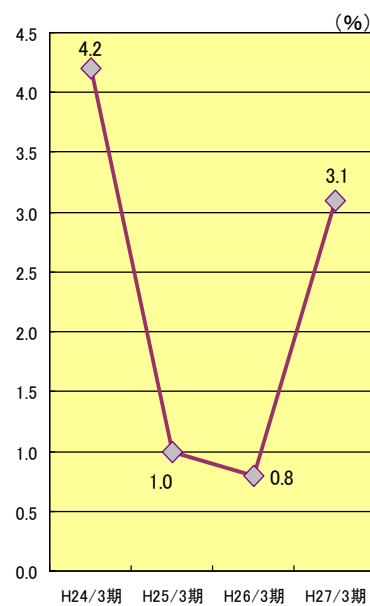
売上総利益(率)



営業利益(率)



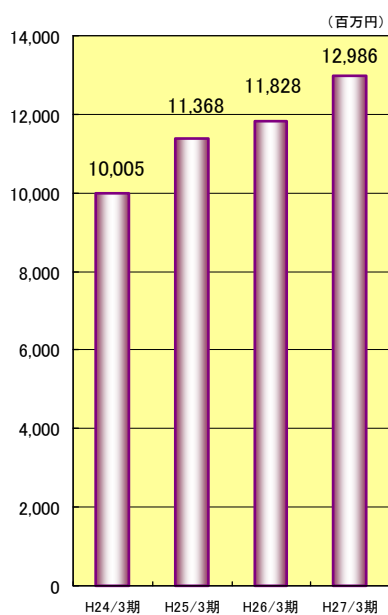
当期純利益(率)



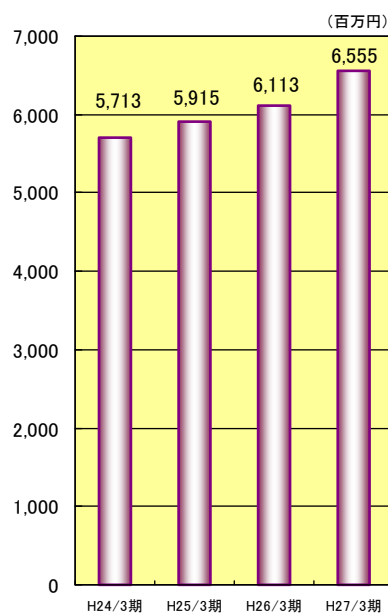
(6) 総資産・純資産(連結)

- ・資産は主に借入金の増加により現金及び預金が増加。
- ・負債は主に支払手形及び買掛金、長期借入金が増加。
- ・純資産は利益剰余金が増加。

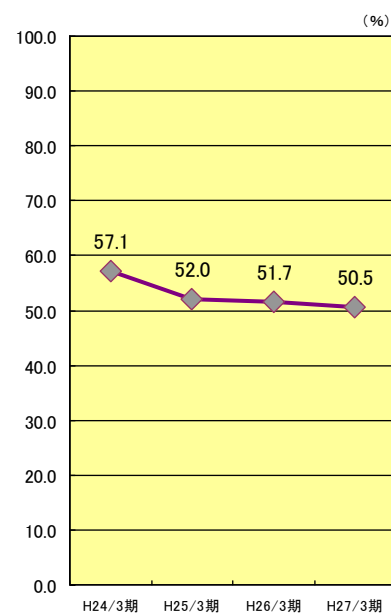
総資産



純資産



自己資本比率



(7) 配当政策

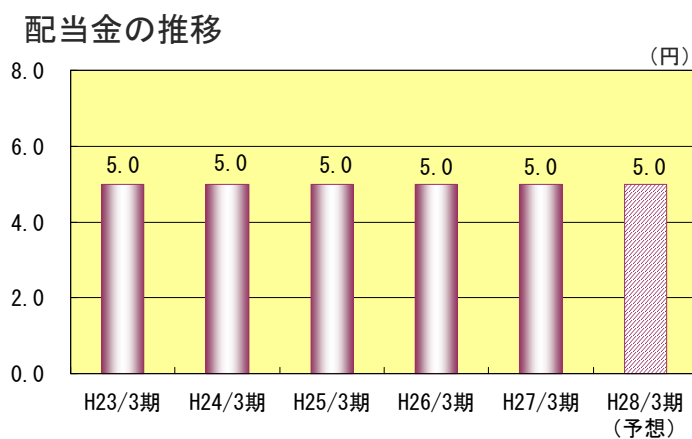
利益配分につきましては、株主様および一般投資家様への企業責任の重大性を十分に認識し、業績を勘案して安定配当の確保と継続を基本とするとともに、グループが成長するための有効投資および財務体質の強化に取り組んでまいります。

(8) 利益配分の方針

平成27年3月期の配当については、1株につき期末配当金5円00銭とさせていただきます。

次期の配当につきましても、1株につき年5円00銭を予定しております。

今後更に、業績を向上させ安定的な配当を行うように努めてまいります。



2. 今後の取り組みについて

(1) 経営環境

◆ 経済状況

- ・ 雇用や所得の環境改善が持続し、原油安や株高に伴うプラス効果の影響や各種政策の推進もあり、景気は堅調に推移することが期待されるが、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとして残り、依然として楽観視できない状況が続くものと考えられる。

◆ 業界動向

- ・ 家電業界では、円安による輸出増加の期待がもたれるが、世界経済の低迷により大幅な需要増加は見込まれない。
- ・ 工作機械装置業界では、低調であった企業の設備投資意欲が明るさを取り戻し、堅調な受注状況が続くものと期待される。
- ・ 住宅設備関連業界では、消費増税後から建設需要は低調であるが、リフォーム物件などで徐々に需要は回復するものと考えられる。
- ・ 半導体製造設備業界では、市場は堅調に推移することが予想される。

(2) 諸施策

・ 営業

- ・ 当社グループの優位性がある、高効率で低消費電力のモータやポンプを中心に拡販を進めていく。
- ・ グローバルな顧客創出活動と、新規用途の提案で新市場を開拓していく。

・ 製造、購買

- ・ 新生産管理システムの運用により、短納期生産体制の確立を図り、顧客ニーズに応える。
- ・ 部材の共通化を進めるとともに、グローバルな部品調達によりコストダウンを図る。

・ 研究開発

- ・ 低消費電力のDC(直流)モータおよびポンプのバリエーションを増やし、市場ニーズや新たな用途に応える。
- ・ 国際規格(IE2、IE3)に適合した高効率モータのシリーズ化を進め、既存市場での優位性を高める。

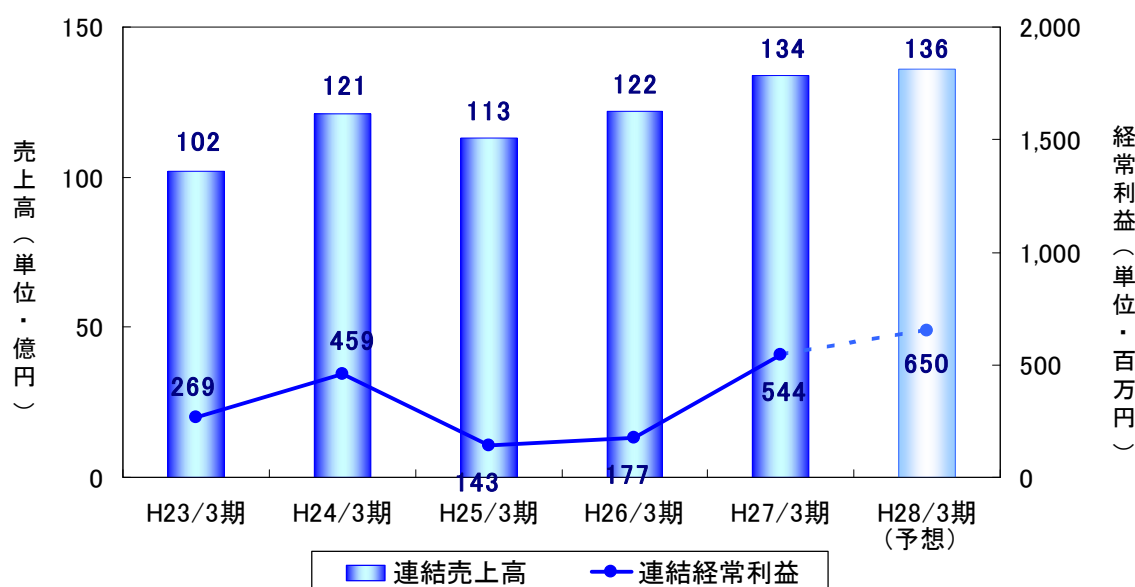
・ 品質

- ・ 製造技術を極め、均一したクオリティの製品を提供する。
- ・ 受入検査の厳格化により組立部門への不適合部品の混入を防ぎ、品質効率を高めていく。

10

(3) 業績の見通し(連結)

[売上高・経常利益のグラフ]



連結：売上高については、トップランナー規制に向けた高効率モータの需要増加や海外市場の拡大により増収を見込む。

利益面については、円安による輸入品のコストアップを販売価格に徐々に転嫁できるものと考えられる。またコストダウンの推進により増益を見込む。

11

おことわり

この資料に掲載しております将来の計画や予想数値については、現在（平成27年6月）入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであり、実績の業績などは、今後の様々な条件・要素によりここに掲載する内容と異なる場合がございます。

なお、この資料は、その実績を確約および保証するものではありませんのでご了承ください。

お問い合わせ先

三相電機株式会社
統括管理部経営企画課

〒671-2288

兵庫県姫路市青山北一丁目1番1号

TEL 079-266-1200

FAX 079-266-1206

E-mail sanso@sanso-elec.co.jp